

基幹品目

きゅうり

～単収増による生産拡大～

1 県内の主な産地（R 4 年度 県農産課調べ）

久米南町（13ha）、真庭市（10ha）、岡山市（7ha）

2 生産状況（農林水産統計）

区 分	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	R 4 /H30
栽培面積(ha)	89	80	74	75	76	85.4%
生産量(t)	2,000	2,610	2,590	2,730	2,780	139.0%
産出額(億円)	7	7	9	7	—	—%

3 特長

- ・水田転作作物として、県中北部を中心に産地が形成されており、共同選果体制が確立されている。また、選果場における農福連携の取組も始まっている。
- ・日射制御型拍動自動かん水装置等の省力化技術が導入されている。
- ・病気に強く、高品質・多収な品種の導入が進んでいる。

〈振興方針〉

- ・担い手の確保・育成による産地の維持・拡大
- ・日射制御型拍動自動かん水装置やハウス等生産施設の整備
- ・耐病性品種導入による9月以降の出荷量の増加

